

平成21年度第2次新まちづくり計画事業進行調書(その2)

計画体系コード	2-2-2			事業名	若年層に対する就業支援事業		
達成目標の状況							
項目	18年度末 (現状)	19年度末 (実績)	20年度末 (実績)	21年度末 (予定)	22年度末 (予定)	22年度末 (目標)	
受講者数	596人	594人	758人	1,020人	1,000人	1,000人	
就業率(ジョブチャレンジ事業の受講者に対する率)	-	42.8%	47.1%	30.0%	30.0%	30.0%	
市民・企業等との協働の状況(市民・企業等の参加、支援、協力の状況)							
<p>市民との連携、市民参加 (該当なし)</p> <p>企業等との連携・協働 [資金協力] (該当なし) [人材協力] [情報協力] } 若者の就業体験先として企業等から受け入れの協力を得ている。 [その他の協力]</p> <p>市民・企業等が参加しやすい環境づくり ・受講者アンケートの結果や関係者からのヒアリングなど、市民・企業等の声を聞き、事業の企画、立案に反映している。</p>							
評価(成果)			課題				
<p>【就職支援の取り組み】 受講者数は増加しており、就業体験を通じて体験先の企業や社員から影響を受けることで、就業意欲の向上が図られ、就職率も向上するなど一定の成果を挙げた。 同じ境遇にある若者同士が事業を通じて交流することで、仲間意識が醸成され、その後の就職活動にも好影響が見られた。 就業体験や合同企業説明会を通じて、若年層求職者と企業の出会いの場を提供することにより、雇用機会が増大した。</p> <p>【職場定着支援の取り組み】 就職内定者が社会人として不可欠なビジネススキルを習得することで、入社前の不安軽減とスムーズな職場定着に寄与した。 研修の機会が少ない中小企業を対象に講座を実施することで、経営資源として欠かせない人材の育成と職場定着を促進し、安定した職場環境から生み出される企業の活性化の一因となった。 また、各種研修はグループワークを中心に構成しており、企業間交流の場としても好評であった。</p>			<p>【就職支援の取り組み】 経済・雇用環境の急速な悪化の影響で、企業における採用意欲が低下していることから、より確実な就職に結びつく事業を展開する必要がある。 受講者が充実した就業体験を行えるよう、引き続き、さまざまな業種の受入れ企業を開拓し、確保する必要がある。 国や道などの関係機関と連携し、効率的かつ効果的な事業を展開する必要がある。</p> <p>【職場定着支援の取り組み】 若年層の早期離職率が全国と比べ高く推移していることから、若者と企業の双方にとって有益な職場定着に向けた支援を強化する必要がある。新規学卒者(高校)の3年後の離職率 全国47.9% 全道55.6%(H20年3月現在) 出所:北海道労働局 若者が抱える多様な悩みや課題に対応するため、きめ細やかな支援を行う必要がある。 企業のニーズは経済情勢や社会的要因によって変化していくため、講座科目は必要に応じて見直しを行う必要がある。</p>				
今後の事業の予定・方向							
<p>【就職支援の取り組み】 より一層の事業周知を図るため、PRイベントを実施する。 受講者ニーズに合わせ、支援メニューを細分化して実施する。</p> <p>【職場定着支援の取り組み】 研修中には、若者同士が目標や課題などを共有しながら積極的に交流できる場を提供する。また、カウンセラーによる個別のキャリアカウンセリングを実施する。 受講者アンケートの結果を検証することで企業のニーズを把握し、適切な講座科目を選定していく。</p>							

平成21年度第2次新まちづくり計画事業進行調書(その3) (単位:千円)

計画体系コード		2-2-2		事業名	若年層に対する就業支援事業		
事業費の推移							
項目		19年度	20年度	21年度	22年度	計	
計画	事業費	40,441	34,853	34,853	34,853	145,000	
	財源内訳	国・道支出金	0	0	0	0	0
		市の債	0	0	0	0	0
		その他	0	0	0	0	0
		一般財源	40,441	34,853	34,853	34,853	145,000
予算	事業費	40,441	38,178	36,056	-	114,675	
	財源内訳	国・道支出金	0	0	0	0	0
		市の債	0	0	0	0	0
		その他	0	0	0	0	0
		一般財源	40,441	38,178	36,056	-	114,675
実績	事業費	38,076	33,694	-	-	71,770	
	財源内訳	国・道支出金	0	0	0	0	0
		市の債	0	0	0	0	0
		その他	0	0	0	0	0
		一般財源	38,076	33,694	0	0	71,770
事業費の進捗率		(H19実績事業費 + H20実績事業費 + H21予算事業費) / (計画事業費)				74.4%	
計画との差異(予算・実績・事業内容・規模・時期等)							
<p>(全体) 概ね計画を上回り進捗している。</p> <p>[19年度] 受講者数については、18年度をわずかに下回ったが、就職率は目標の30%大きく上回る42.8%であった。</p> <p>[20年度] 受講者数は19年度を大きく上回った。就職率はH19に引き続き目標の30%を上回った。</p> <p>[21年度] 事業PRの強化や求職者への支援メニューの細分化など、新たな取組みの効果が上がるように努めていきたい。</p>							